



撓ま ず 屈 せ ず が ん ば ろ う 釜 石 ！

根 浜 地 区

発行：平成 26 年 2 月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

住宅再建意向調査の集計結果と、それに基づき再検討した土地利用計画を説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

その結果、土地利用計画は会議に参加された皆様の合意を得られたことから、今年度中に関係地権者のご理解を得た上で、調査や詳細設計、造成工事に向けた準備を進めていきます。

用地買収状況によっては工事の全体工程に大幅な見直しが生じますので、地権者の皆様には、重ねてご理解、ご協力をお願いいたします。

開催 開催日：平成 25 年 12 月 23 日（月） 時 間：13：30～15：00
概要 場 所：市役所第 4 庁舎第 7 会議室 参加人数：42 人

根 浜 地 区

岩手県土地開発公社が設計や造成工事を担当し、市とともに事業を進めていきます。



住宅再建意向調査の集計結果について

今回の調査は、昨年度の調査対象約 5,000 世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた約 4,200 世帯を対象に行いました。市全体の回収率（12 月 4 日現在）は 77.9%となり、根浜地区では全ての方にご回答いただきました。

その結果は以下のとおりです。

【被災時の居住地区別、住まいの再建方法の内訳】

被災時の居住地区	発送	回収	公営	自力	その他
根浜地区	62	62	13	49	0

再建方法	世帯数
根浜で自力再建	32
根浜の復興公営住宅に入居	10
地区外で自力再建	4
地区外の復興公営住宅に入居	3

【根浜地区内の自力再建者の詳細】

自力再建（世帯数）	今回	前回（参考）
土地は市が用意	31	23
土地は自ら用意	1	0

希望坪数	世帯数
100	23
80	7
60	1

合計：31宅地

【根浜地区復興公営住宅の詳細】

合計：13戸（戸建） 参考（前回） 16戸

※他地区から2世帯入居、世帯分離で複数戸必要な世帯がある。

前回協議会（4/29 開催）のふりかえりと根浜地区土地利用計画について

最終の住宅再建意向調査の結果より、自力再建が 31 戸、公営住宅は 13 戸として土地利用計画を再検討していますが、海側前面の公園や中心部の公営住宅など、原則前回の計画を踏襲しています。

沢水対策では、東側、西側道路の脇に現在の水路の約 1.8 倍の大きさの水路を配置し、上流には土砂の流出防止、流速低下のために小型の堰を計画しています。地下水は、暗渠排水施設を整備し、雨水を排水しやすくします。

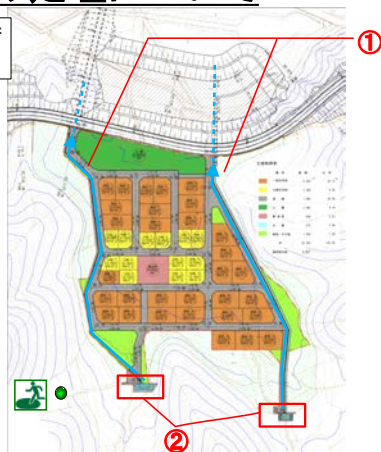
沢水の処理について

①水路を住宅地東側だけでなく西側にも計画

・負荷を軽減し
災害リスクを低下

②上流側に小型堰を設置

・土砂の流出防止
・流速の低減効果

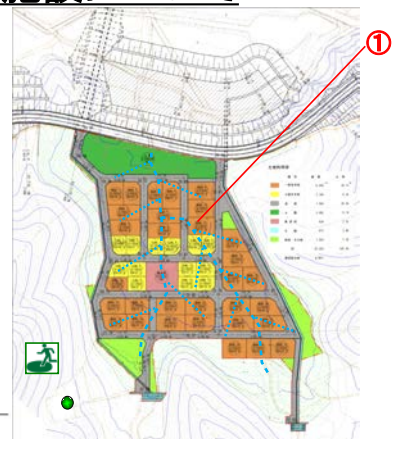
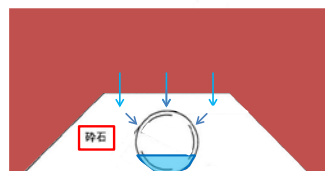


暗渠排水施設について

①現状の沢にそって排水施設を設置

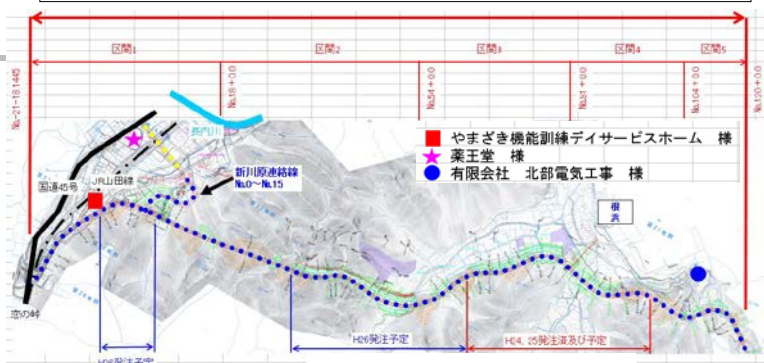
・地下水対策による
造成地の安定

断面図



市道箱崎半島線について

市道箱崎半島線は、やまぎ機能訓練デイサービスホーム付近から山へ入り、根浜の高台移転エリアを通り、終点は既存の鶴住居2号線に接続します。現在、測量・調査・設計業務を行っており、平成29年3月末の完成を目指しています。半島への早急な道路整備のため、設計用地買収、工事を一体となって行っています。



このような意見をいただきました

- 盛土の安全性について説明して欲しい。十分な締め固めを行って工事をするので問題ないとの説明を受けたが、住宅の基礎工事に余分なお金が掛かることはないか？

宅地の地盤面の基準はこれから決めていきますが、通常の戸建住宅の整備に問題のない地盤強度を設けることが団地造成の基本になります。鉄筋コンクリート造の3階建て以上などは除き、通常、2階建て程度の戸建ての場合を想定した3 t/m²などで進めていくことになると考えられます。



- 上流からの排水路が宅地の中に掘られるが、道路の下にあったほうが良いのではないか？

排水管は国の基準に従った盛土の下を通すので、宅地の陥没などは事例からも特に心配していただくことはありません。



- 沢筋へ最大の15mの盛土造成は、地滑り地形を作る印象を持つが、地滑りの安全は保障されているのか。また、昨今、自然条件が厳しくなっており設計基準の見直しも国で議論があるなかで、排水計算上の余裕はどれくらいか？

地滑りは、今の事実調査に加え、ボーリング調査結果を踏まえてより詳細に検討したいと考えています。排水は、通常の岩手県内の河川では、時間雨量50mm前後で整備します。安全を考え、前は1本でしたが、2本に分別してより安全に整備を行う予定です。(県土地開発公社)

- 排水処理の機能低下をどう考えているのか。20年先、30年先も能力を保てるのか？

地下排水管は、例えば石が入っても目詰まりなどで機能しなくなることはありません。仮につぶれても、石で巻いており長期間機能が保たれるものです。

- 箱崎線は二線堤的な位置づけをイメージするが、堤防機能を少しは持たせているのか？

道路の設計で見込んでいませんが、事例などから道路としての普通の設計をしていれば、一定の効果はあると考えられます。

- いつから自力再建の住宅を建設会社に発注できるのか？沿岸で一斉に工事が始まることから、住宅の建設業者が見つかるか不安であり、今日時点で分かる範囲で良いので教えて欲しい。

造成工事を平成26年12月までとしています。どこにどれくらいの期間がかかるか詳細設計が進み工程が明らかになり次第、情報提供していきたいと思っております。現時点での工程では、造成工事が終了した平成27年1月から住宅整備を行える予定です。



復興事業については、できる限りみなさまの期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。1日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部
TEL: 0193-22-2111(内線192)
FAX: 0193-22-9505